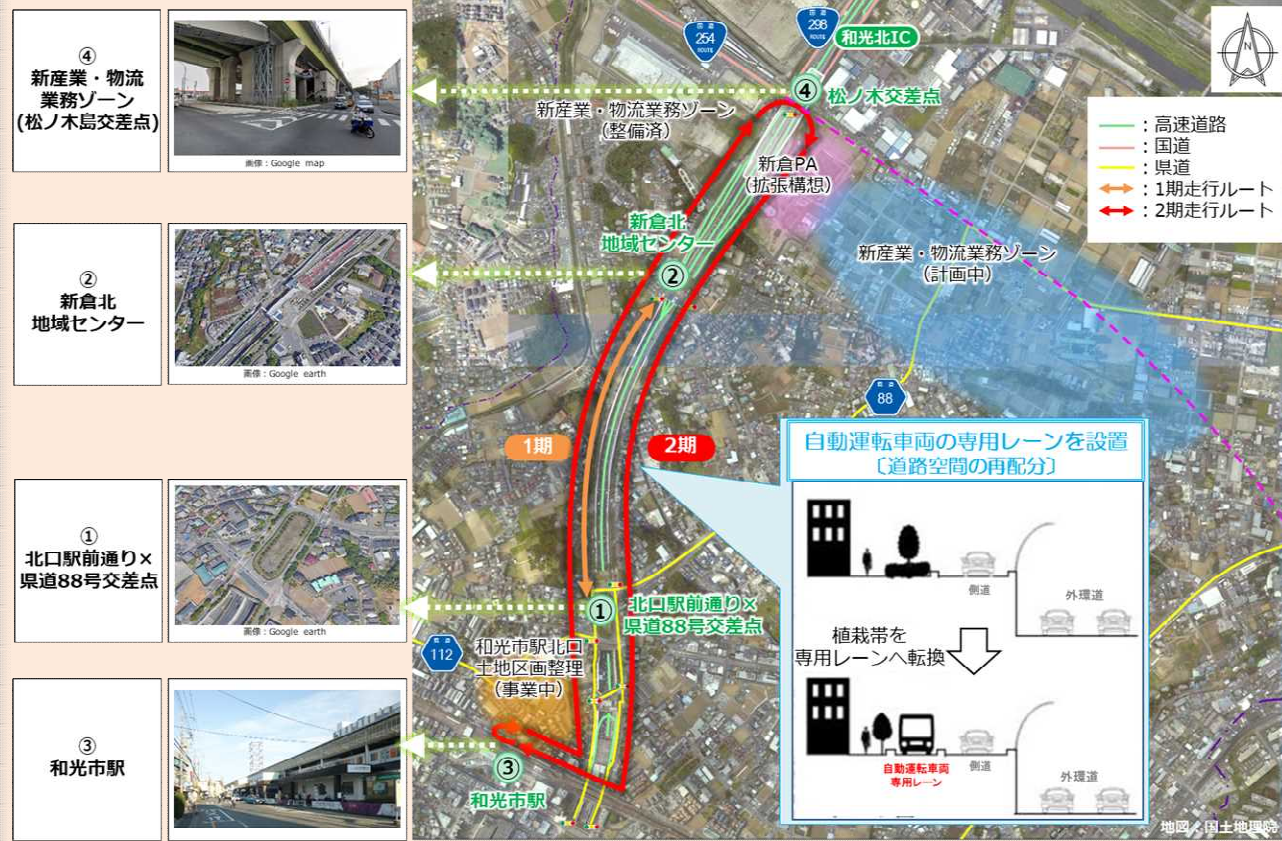


■プロジェクト関連施設の位置関係



※今後、関係者等との調整により変更となる場合があります。

■住民説明会の実施報告

開催日時： 1回目=2021年1月12日（火）18時30分～19時40分
2回目=2021年1月16日（土）14時00分～15時10分

- 開催場所： 新倉北地域センター会議室
- 対象者： 地域住民
- 参加者数： 1回目=5名、2回目=20名

※和光市HP上でも住民説明会の資料内容を動画で公開

■住民説明会等で寄せられた意見（詳細は市HPにも掲載）

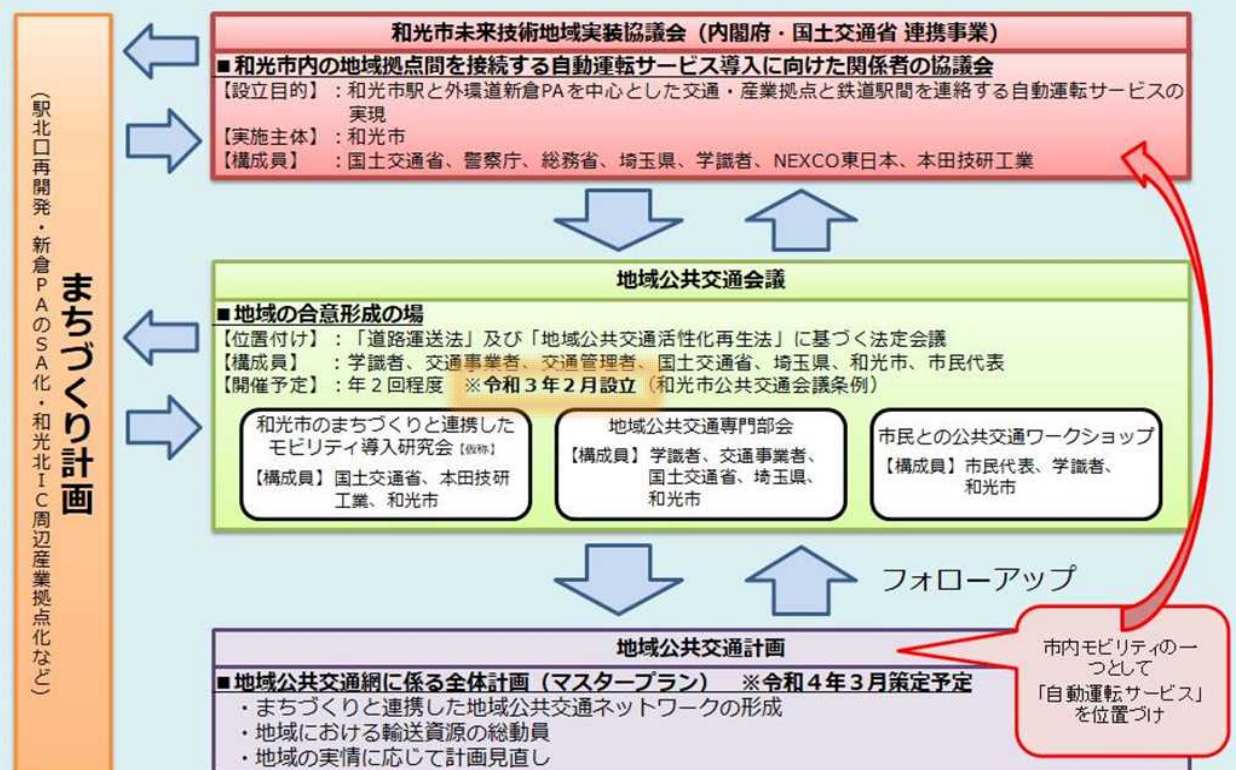
住民説明会での質疑応答やメール等により、**植樹帯の維持**や**外環側道部の渋滞・騒音問題**、**構造的に分離された専用走行空間化の是非**に関する意見を頂いた



住民説明会の実施状況

事項	寄せられた意見の概要	件数
環境面（騒音・振動対策等）に関する事項	現在の外環側道部の交通量・騒音に対する改善要望や自動運転車による騒音への懸念等が寄せられた	3
植樹帯に関する事項	外環側道部の緑を残してほしいとの意見が寄せられた	4
自動運転技術・専用レーンに関する事項	自動運転専用レーンの必要性に対する懐疑的な意見や専用レーンへの誤侵入対策に関する意見が寄せられた	7
自動運転サービス内容に関する事項	運行頻度に関する意見や地域住民が利用する場合のメリットに関する意見が寄せられた	11
自動運転車両の停留所に関する事項	走行ルート上の停留所の有無に関する意見が寄せられた	2
安全面に関する事項	通学路でもあることから、安全面を危惧する意見が寄せられた	2
防災に関する事項	洪水ハザードで浸水するエリアであるとの意見が寄せられた	1
スケジュール・予算に関する事項	整備スケジュールや市の予算状況、国からの補助に関する意見が寄せられた	3
関連事業・実施体制等に関する事項	事業に関連する企業等に関する意見が寄せられた	5

■プロジェクトの実施体制



■「地方創生推進交付金」の概要

- 地域創生を支援するため、国（内閣府）から交付される交付金
- 自治体が行う自主的かつ主体的、そして先進的な事業を複数年に渡って支援される
- 事業の進捗状況は「KPI（重要実績評価指標）」で評価

➢ 和光版MaaSにおけるKPI

- ①自動運転サービスと接続する公共交通利用者数、②和光北インター周辺の新産業・物流業務ゾーンにおける就業者数（ほか）

■和光市の応募内容：「地域再生計画」

- 「和光版MaaS構想推進計画」として、外環道PAを中心とした交通・産業拠点と鉄道駅間を連絡する自動運転サービスの社会実装の実現を目的に応募し、「横展開タイプ」として採択
- 横展開タイプ…先駆的・優良事例の横展開を図る事業 計画認定期間：3カ年以内

■「地域再生計画」による事業概要

- (1) 地域住民の移動の利便性向上を図る事業
 - 地域公共交通予約アプリの開発による多様な交通手段の予約一元化
 - 自動運転車両と既存の公共交通の乗換え拠点の整備計画策定
- (2) 産業拠点へのスムーズなアクセスを実現する事業
 - 和光市駅～新倉PA間（約1.5 km）の自動運転サービスの導入計画策定
 - 自動運転専用レーン整備のための詳細設計
- (3) 結節機能の充実により地域ブランドPRの展開を図る事業
 - 車両への地元企業広告のラッピングや市商工会と連携したイベント企画
 - 自動運転車両を利用した市外地域（川越市など）への観光企画

■ 2021年度の主な取組（予定）

- 構造的に分離された**自動運転車両専用の走行空間についての詳細設計を実施**する。
- **一部実装に向けた1期の整備計画を策定**する。
- **実証実験に向けた地域住民や周辺企業従業員等への説明会を実施**する。

■ 2022年度の主な取組（予定）

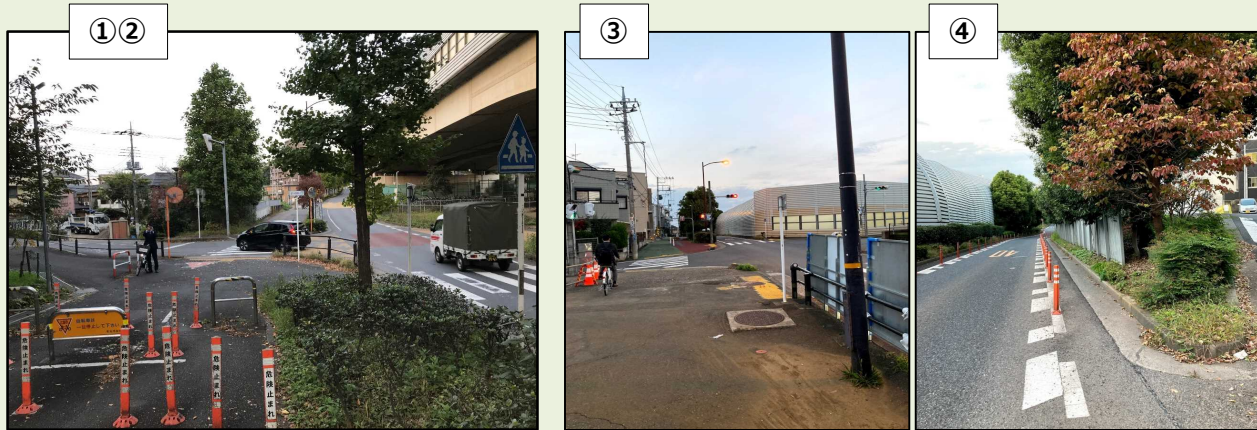
- **構造的に分離された専用走行空間の一部を先行整備**する。
- **1期における社会実験を実施**する。
- 1期の社会実験後に**市民アンケートを実施し、本格実装化に向けた改善事項を抽出**する。

実施内容	2020年度				2021年度				2022年度			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
				● 住民説明会								
			● 地域実装協議会									
			→ 全体計画立案 業務委託 課題整理									
				● 住民説明会								
			● 地域実装協議会									
			→ 構造的に分離された 専用走行空間に係る 整備計画策定									
				● 住民説明会								
			● 地域実装協議会									
			→ 構造的に分離された 専用走行空間の 整備に係る工事									
												● 市民 アンケート
												→ 実証実験・ 効果検証 一部実装化

※今後、関係者等との調整により変更となる場合があります。

■ 自動運転車両専用レーン設計における配慮事項

- ① **信号の無い交差区間の車線運用**
 - 専用レーンへの誤進入対策・・・一般車他の自動車交通への対応・・・並走する一般車両の左折時の処理、交差側車両への警告方法等
 - 両や自転車、歩行者の進入を防ぐ対策
- ② **途中区間での沿道施設からの乗り入れ箇所の設置可否**
 - 交差する交通への対応・・・乗り入れる一般車両への警告方法等
- ③ **信号交差区間の車線運用**
 - 信号制御との連動対応・・・遠隔または車内監視の操作者による手動介入から将来的な信号情報の路車間通信による全自動での制御
- ④ **車道側と歩道との高低差が大きい区間の設計**



- 今後、必要に応じてWG等の単位で個別に検討を予定。
- 計画策定のための「サービス検討WG」
 - 設計・交通運用等における「自動運転専用レーン設計WG」

■ 自動運転車両専用レーン設計における自動運転車両の考え方

- 自動運転サービスの利用ターゲットに応じた車両の選定
 - 和光北インター周辺の新産業・物流業務ゾーンへの**就業者向け通勤輸送**
⇒ **短時間での大量輸送を可能とする車両**
 - 周辺地域住民のうち、特に移動の制約がある高齢者等
⇒ **低床で乗り入れしやすい車両**
 - 勾配の多い区間での環境にやさしいモビリティ
⇒ EV式の**低騒音かつ勾配での安定走行**が可能な車両



20名程度が乗車可能な
「小型バスタイプ」
が走行可能なレーンとして設計を検討

【問合せ先】
和光市建設部 公共交通政策室 公共交通政策担当
TEL : 048-424-9135 (直通) mail : e0800@city.wako.lg.jp